

## 2009年度 定例総会議事録

表記の総会が、2009年8月1日(土)16時40分より統計数理研究所にて開催された。岩崎 学氏を議長に選出し、以下の事項が報告・承認された。(委任状152)。

### I. 2008年度事業報告(2008.04.01~2009.03.31)

#### 1. 概 況

2008年度は、鎌倉稔成会長、富澤貞男副会長をはじめとする15名の理事、ならびに赤平昌文、神保雅一両監事の体制で活動した。

財務については引き続き苦しい状況にある。年会費の回収率は比較的よいものの会員数減少が2008年度も続いており(2008年3月31日596名⇒2009年3月31日570名)、当期収入よりも支出が上回っている。繰越金の残高から考えると、このままの状況では5年程度で破綻する計算である。長期的な視野に立った計画を早急に考える必要がある。

会員数は2009年3月31日現在、正会員556名、学生会員14名、賛助会員5社、機関・団体購読は49件である(昨年度は、正577、学19、賛5、機・団53と、本年度いずれも減少)。

#### 2. 総会の開催

総会を2008年6月7日(土)に筑波大学で開催した。

#### 3. 評議員会

2008年6月7日(土)に定例評議員会を開催し、総会に付議する事項等について審議した。

#### 4. 理事会

2008年7月2日(水)~7月11日(金)、9月7日(日)、2009年4月15日(水)の計3回開催し、学会の運営に関する事項について審議した。審議内容を要録として学会誌に掲載した(ホームページへの掲載は2007年度からストップしていた。今後は掲載を検討したい)。

#### 5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.37のNo.1, 2, 3を発行した。Vol.37の掲載原稿は、特集1編、研究論文2編、統計計算1編、覚え書1編、その他1編で、総計156頁(昨年156頁、一昨年212頁)である。

#### 6. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。

##### (a) 優秀論文賞

松田安昌、矢島美寛、「不等間隔時空間データに対するフーリエ解析」、Vol.36, No.1.

##### (b) 奨励論文賞

茅野光範、小西貞則、平川英樹、久原哲、「正規化基底展開法に基づく関数主成分分析とその応用」、Vol.35, No.1.

#### 7. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2008年9月7日(日)~10日(水)に慶応義塾大学(矢上キャンパス)(横浜市)で開催した(応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会の共催、日本分類学会の協賛)。本学会としてはこの連合大会をシンポジウムとした。

企画セッション、一般セッション、コンペティション、チュートリアルセッション、市民講演を行った。参加者数は、大会が約 820 名、チュートリアルセッションが約 200 名、市民講演会が約 210 名であった(昨年度は大会参加者が 848 名、チュートリアルセミナー参加者が 377 名)。

#### 8. 年会

2008 年度年会を 2008 年 6 月 7 日(土)に筑波大学で開催した。特別講演 4 件、一般講演 5 件の発表があった。参加者は 108 名(正会員(含協賛学会員)68 名、学生 34 名、非会員 6 名)であった(2007 年度の参加者は 115 名)。

#### 9. チュートリアルセミナー

2008 年 6 月 6 日(金)に筑波大学で開催し、藤井良宜氏(宮崎大学)に「症例対照研究のデザインとその解析方法」について講演いただいた。参加者は 132 名(正会員(含協賛学会員)52 名、学生 32 名、非会員 45 名)であった(2007 年度の参加者は 192 名)。

#### 10. 統計関連学会との協調について

以下の各委員会に当学会よりそれぞれの委員会の担当理事および特別任務を担当する学会員が出席した。

##### ◎統計関連学会連合

理事会(2008 年 4 月 19 日、6 月 11 日～17 日、9 月 11 日、11 月 4 日、11 月 15 日、2009 年 2 月 5 日)

##### ◎統計関連学会連合大会

2008 年度大会：組織委員会(4 回)、プログラム委員会(3 回)、運営委員会(2 回)  
Web 委員会(適宜、メール会議)

##### ◎横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)

定時総会・講演会(2008 年 5 月 14 日)

第 2 回横幹連合総合シンポジウム(2008 年 12 月 4 日～5 日)

##### ◎リスク研究ネットワーク

「定量的リスク科学の確立」ワークショップ(2008 年 11 月 15 日)

総会(2009 年 3 月 31 日)

#### 11. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを常に更新し、学会員への情報公開を円滑にし、また、メーリングリストによる情報公開を行った。

#### 12. 大内賞の推薦

大内賞に田栗正章会員を推薦した。後日、同会員の受賞が決定した。

#### 13. その他

以下の会合と協調して事業を進めた。

(a) 第 6 回多重比較法国際会議(2009 年 3 月 24 日～27 日)を後援した。

(b) 第 11 回情報論的学習理論ワークショップ(IBIS2008)(2008 年 10 月 29 日～31 日)を協賛した。

その他の事業については Web にて公開していますので、そちらを参照下さい。

## II. 2008 年度決算報告(自 2008 年 4 月 1 日～至 2009 年 3 月 31 日)

### 1. 収入の部

(単位 円)			
勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,607,500	2,522,500	85,000
(1) 正会員	2,472,500	2,365,000	107,500
(2) 学生会員	35,000	37,500	▲ 2,500
(3) 賛助会員	100,000	120,000	▲ 20,000
2. 雑誌売上収入	268,800	214,200	54,600
(1) 購読料収入	268,800	214,200	54,600
(2) バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	110,000	90,000	20,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	150,900	50,000	100,900
5. 年会等関係収入	645,000	675,000	▲ 30,000
(1) 年会収入	269,000	270,000	▲ 1,000
(2) チュートリアル収入	376,000	405,000	▲ 29,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	95,938	50,000	45,938
当期収入合計	3,878,138	3,601,700	276,438
前期繰越金	3,857,701	3,857,701	0
収入合計	7,735,839	7,459,401	276,438

#### 会費収入に関する補足

2008 年 3 月 31 日現在会員 570 名(2008 年 3 月末で退会予定の 17 名を含める)

内訳 正会員 556 名

学生会員 14 名

#### 正会員収入内訳

2007 年度まで 155,000 円(16 名) ※ 1999-2007 年度 1 名, 2004-2007 年度 1 名,  
2005-2007 年度 2 名, 2007 年度 12 名

2008 年度 1,302,710 円(263 名)

2009 年度から 1,014,790 円(202 名) ※ 2010-2012 年度前受金 15,000 円を含める

#### 学生収入内訳

2007 年度まで 2,500 円(1 名)

2008 年度 22,500 円(9 名)

2009 年度から 10,000 円(4 名)

会費納入率 88.80%(前年度に納入された 1,174,790 円を含める)

機関購読数 49 件

## 2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	1,971,271	2,361,760	△ 390,489
(1)印刷費	1,540,345	1,800,000	△ 259,655
(2)校正費	100,000	150,000	△ 50,000
(3)英文校正費	0	0	0
(4)通信・発送費	319,166	400,000	△ 80,834
(5)PDF化費	11,760	11,760	0
2. 年会等関係費	526,624	550,000	△ 23,376
(1)年会支出	309,722	300,000	9,722
(2)チュートリアル支出	216,902	250,000	△ 33,098
(3)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,601,171	1,603,740	△ 2,569
(1)事務委託費	1,160,000	1,160,000	0
(2)消耗品費	269,711	200,000	69,711
(3)会議費	75,500	100,000	△ 24,500
(4)雑費	75,670	85,000	△ 9,330
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	11,550	50,000	△ 38,450
(7)選挙費	8,740	8,740	0
4. 役員旅費補助	105,360	300,000	△ 194,640
5. 関連学会協調事業費	202,046	180,000	22,046
(1)関連学会年会費*	80,000	80,000	0
(2)連合大会	122,046	100,000	22,046
6. 学会賞	45,015	50,000	△ 4,985
当期支出合計	4,451,487	5,045,500	△ 594,013
収支差額(次年度繰越金)	3,284,352	2,413,901	870,451
支出合計	7,735,839	7,459,401	

※「応用統計学」Vol.37-1,37-2, 37-3

## 2009年度への繰越金の内訳

(単位 円)

項目	2008年3月31日現在	2009年3月31日現在
銀行預金	879,095	646,285
郵便貯金	2,331,604	1,332,490
定額貯金	0	1,000,000※
郵便振替	631,548	295,988
現金	15,454	9,589
合計	3,857,701	3,284,352

※平成20年度に改めて定額貯金を開設

## 会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2008年4月1日より2009年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2009年4月11日

監事

赤平 昌文 (印)

神保 雅一 (印)

### III. 2009 年度事業計画(2009.04.01～2010.03.31)

#### 1. 機関誌の発行

「応用統計学」Vol.38 を発行する。

#### 2. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞を授与する。

#### 3. 年会の開催

2009 年度年会を 2009 年 5 月 23 日(土)に大阪大学医学部銀杏会館にて開催し、総会、および評議員会を行なう。

#### 4. チュートリアルセミナーの開催

2008 年 5 月 22 日(金)に大阪大学医学部銀杏会館にて開催し、金明哲氏(同志社大学)に「テキストマイニングの基本的な考え方と諸種の実践事例」について講演いただく。

#### 5. 統計関連学会連合大会でのシンポジウムの開催

2009 年度統計関連学会連合大会を 2009 年 9 月 6 日(日)～9 日(水)に同志社大学(今出川キャンパス)にて開催する。応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が共催する。応用統計学会としては、これをシンポジウムとする。企画セッションとして、学会賞受賞者の記念講演を行うことを予定している。

6. 必要に応じてその他の研究集会を開催する。また、科研集会を支援する。

7. 統計関連学会をはじめ、関係学会との協調を促進する。

8. 会員増強に努める。

9. ホームページの充実をはかり、学会員への情報公開を円滑に行う。

#### 10. その他

以下の会合と協調して事業を進めると共に、追加で依頼があれば適宜検討し、可能な限り協力する方向で協議する。

(a) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)の加盟を継続

第 3 回横幹コンファレンス(2009 年 12 月 3 日(木)～5 日(土)、東北大学)の開催

(b) リスク研究ネットワークの加盟を継続

#### IV. 2009年度予算(自2009年4月1日～至2010年3月31日)

##### 1. 収入の部

(単位 円)

勘定科目	2008年度予算	2008年度実績	2009年度予算
1. 会費収入	2,522,500	2,607,500	2,610,000
(1) 正会員	2,365,000	2,472,500	2,465,000
(2) 学生会員	37,500	35,000	25,000
(3) 賛助会員	120,000	100,000	120,000
2. 雑誌売上収入	214,200	268,800	210,000
(1) 購読料収入	214,200	268,800	210,000
(2) バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	90,000	110,000	200,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	50,000	150,900	150,000
5. 年会等関係収入	675,000	645,000	670,000
(1) 年会収入	270,000	269,000	270,000
(2) チュートリアル収入	405,000	376,000	400,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	50,000	95,938	50,000
当期収入合計	3,601,700	3,878,138	3,890,000
前期繰越金	3,857,701	3,857,701	3,284,352
収入合計	7,459,401	7,735,839	7,174,352

個人会員の会費納入率を90%として

正会員……493名(547名×0.9)×5,000円=2,465,000円

学生会員……10名(11名×0.9)×2,500円=25,000円

賛助会員……6件×20,000円=120,000円

購読料収入……50件×6,000円×0.7(マテマティカ手数料)=197,400円

## 2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	2008年度予算	2008年度実績	2009年度予算
1. 機関誌関係費	2,361,760	1,971,271	2,026,720
(1)印刷費	1,800,000	1,540,345	1,600,000
(2)校正費	150,000	100,000	100,000
(3)英文校正費	0	0	0
(4)通信・発送費	400,000	319,166	320,000
(5)PDF化費	11,760	11,760	6,720
2. 年会等関係費	550,000	526,624	620,000
(1)年会支出	300,000	309,722	400,000
(2)チュートリアル支出	250,000	216,902	220,000
(3)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,603,740	1,601,171	1,665,000
(1)事務委託費	1,160,000	1,160,000	1,160,000
(2)消耗品費	200,000	269,711	200,000
(3)会議費	100,000	75,500	80,000
(4)雑費	85,000	75,670	80,000
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	50,000	11,550	20,000
(7)選挙費	8,740	8,740	125,000
4. 役員旅費補助	300,000	105,360	300,000
5. 関連学会協調事業費	180,000	202,046	180,000
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2)連合大会	100,000	122,046	100,000
6. 学会賞	50,000	45,015	70,000
小計	5,045,500	4,451,487	4,861,720
7. 予備費	2,413,901	3,284,352	2,312,632
当期支出合計	7,459,401	7,735,839	7,174,352

- 1. 機関誌関係費 印刷費…38巻1-3号の1号につき60万円として算出したものから、実績に基づき下方修正  
PDF化費…34巻8論文のPDF化の費用(税込)
- 2. 年会等関係費 年会支出…ポスターセッション用パネルレンタル代金等含む
- 5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費…横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円,  
統計関連学会連合年会費3万円を含む
- 2. 学会賞…証書ファイル作成費2万円を含む